

【参考資料】

3 現アリーナ既存利用の影響

ライセンス交付への影響

Bリーグプレミア（川崎ブレイブサンダース：KBT）

2027-28シーズンのライセンス交付
（R7.6月申請）前提条件

- ・ 2028-29シーズン開幕までに「ホームアリーナ検査要項」を充足するアリーナが確保されている。
- ・ 代替アリーナ検査要項を充足する施設がすでに確保されている。

SVリーグ（NECレッドロケッツ川崎：NEC）

ライセンス交付前提条件
（対象シーズン前年11月申請）

- ・ 「ホームアリーナ検査要項」を充足するアリーナが確保されている。
- ・ 基準は6年かけて段階的に引き上げ。（2027年以降竣工のアリーナは2030年基準を充足すること）



ライセンスが交付されない場合は、**下部リーグ転落 又は 他都市移転の可能性**がある

現とどろきアリーナとリーグ基準の状況

ホームアリーナ検査要項：

Bプレミア・SV（2030年基準）ともに、**5000席以上の収容人数、VIPルーム・ラウンジの設置等**、内容はほぼ同様。

現とどろきアリーナがホームアリーナ検査要項を充足していない代表例：

- ・ 固定席（スタンド席）からの可動席への出入りが可能
- ・ 固定席（スタンド席）からの出入りが不可能な場所にスイート・ラウンジ利用人数相当の座席が用意されている
- ・ 適切な広さで「ドーピングコントロール室」または「ドーピングコントロール室」として利用可能な部屋がある
- ・ 審判用更衣室にシャワー・トイレが設置されている ほか

注）各クラブからの聞き取り結果による

